

COVID-19感染対策 N95マスクによるMDRPU予防

新型コロナウイルスの診療や看護を行う医療者が長時間にわたり予防用マスク(N95マスク)を着用することによる医療者の医療関連機器圧迫創傷(MDRPU)が報道されています(図1参照)。日本褥瘡学会では、最前線で新型コロナウイルスと向き合う医療者の皆様に少しでもお役立ていただきたいという思いから医療者のためのMDRPU予防例をここに提供いたします。
今後、新しい知見や情報が入りしだい更新いたします。



(図1)

出典: <https://www.businessinsider.jp/post-210346>

N95のマスクは、顔への密着性が何よりも重要になります。

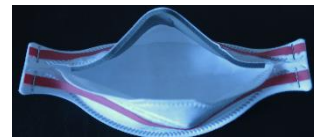
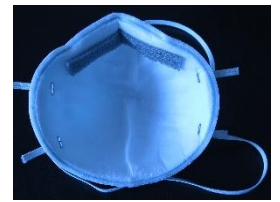
いかなるMDRPU対策をする場合でも、感染対策担当の部門と相談してください。

また、「フィッティングテスト」は必ず実施して、密着性を確認してください。

日本で使用されている主なN95マスク

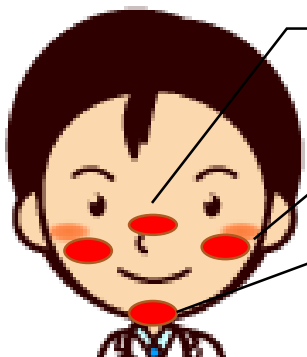


カップ型



折りたたみ式

N95マスクによる圧迫創傷好発部位



鼻根部

頬骨

下顎部

顔の形状やマスクのゴム紐の位置によっても好発部位は異なる。鼻根部は皮下組織が薄く、皮膚直下に骨があるため特に圧迫を受けやすく、またカップ型のほうが素材が硬く、より圧がかかる。

薄いハイドロコロイド材を使う対策例

(被膜剤を使う対策もあります)

《ご準備いただくもの》

薄いハイドロコロイド材

(マスクのフィッティングを邪魔しないもの)

《手順》

1. ハイドロコロイド材を右の写真のようにカットします。性別や鼻の高さなどを考慮してカットしてください。

2. 長めにカットしたものは鼻部を中心に貼付します。フィッティングテストで問題なければ鼻根部は2枚重ねも可能です。

3. 短めにカットした幅のやや広いものは2で貼付したものに少し重なるようにマスクのエッジのカーブを考慮して頬部に貼付します。

4. 下顎部への貼付はマスクのエッジが当たる場合に行うとよいでしょう。

5. N95マスクがハイドロコロイド材と重なることを確認しながら装着します。

6. 顔には個人差があるので、フィッティングテストを実施して密着性を確認してください。

※個人差はありますが、8時間程度は連続貼付が可能です。
※耳介の保護編についてはこちらのリンクをご参照ください。

<http://www.jspu.org/pdf/convatec.pdf>

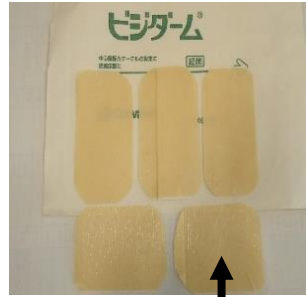
参考文献

*PROTECTING FACIAL SKIN Under PPE N95 Face Masks (NPIAP 2020)

*Prevention of Mask Associated Skin Damage (APWCA 2020)



女性(例)



女性は、頬部に貼付するものを幅広にカット



男性(例)



男性は、鼻部に貼付するものを長めにカット



長くカットしたものを鼻部を中心に貼付し、短くカットしたものを重なるように頬に貼付



《ドレッシング材剥離時の注意事項》

自分の目や鼻、口の粘膜の汚染を避けるために・・・
○手を清潔にする。
○泡立てた洗浄剤を用い、目を閉じた状態で顔を洗い、ペーパータオル等で拭く。
○はがす間はできるだけ目を閉じて、付着しているかもしれないウイルスなどを吸い込まないように注意する。